

インフルエンザの出席停止期間

インフルエンザ発症日を0日と数え、

「5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」













































出席はひかえてください。

学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令の施行について（平成24年4月2日省令改正）

インフルエンザの治療に、抗インフルエンザ薬は非常に効果があります。タミフルを発熱早期に内服すると、1～2日で解熱が可能です。しかし、他者への感染時期が短縮するわけではありません。

発熱初日を第0日と数えて、第5～7日間程度は有意な伝染性が持続します。登校・登園に際して、十分な配慮が必要となります。

抗インフルエンザ薬を使用した場合、解熱後に再発熱することもあります。再発熱も、インフルエンザに一連する発熱と考えて、最終解熱日をご判断ください。

幼児（保育園・幼稚園など）										
	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日
発熱期間										
2日間										
3日間										
4日間										
5日間										
6日間										
1日のうちで、発熱・解熱をともに認めた場合は、発熱期間とします。 解熱後に再発熱した場合、最後の解熱日で判断してください。										
		発熱			解熱			登校可能		